運動部活動等における体罰・暴力に関する調査

（公社）全国大学体育連合では、スポーツおける暴力の根絶に取り組んでいます。その一環として、将来スポーツ指導者や教育現場に立つ可能性のある学生の皆さんに「運動部活動における体罰・暴力に関する調査」を実施しています。この調査は無記名であり、回答データはコード化され統計的に処理されますので、個人が特定されることは一切ありません。ご協力いただける場合は、それぞれの学校期に所属していた学内外の運動部等の種目名などを記入後、下記のQ1～Q3への回答（○印）をお願いします。

◆運動種目名：大学【　　　　　】、高校【　　　　　】、中学校【　　　　　】、小学校【　　　　　】

◆性　別　　：男　・　女

Q1. あなたは将来、運動部活動等のスポーツ指導者になりたいと思いますか。

　　1　強くそう思う　　　2　そう思う　　　3　あまり思わない　　　4　全くそう思わない

Q2．現在または過去の学校期において運動部活動中に体罰・暴力を振るわれたことがありますか。

　　1　ある　 2 ない

⇒「1 ある」に回答した方は下記にお答えください。

Q2-A：それはどの時期ですか（複数回答可）

1　小学校　　 2　中学校　　3　高校　　4　大学

Q2-B：体罰・暴力の頻度はどれくらいでしたか。

1　ほぼ毎日 　 2　週に2～3回 　3　月1回くらい

4　数ヶ月に1回くらい 　5　その他（　　　　　　　）

　　　　Q2-C：1回に行われる体罰・暴力の回数はどの程度でしたか。

1　1回　 　2 　2～3回 　　3　4～6回 　　4　10回以上　 　5　その他（　　　　　　　　）

　　　　Q2-D：体罰・暴力に至る主な理由は何でしたか。（自由記述）

　　　　　[　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　]

　　　　Q2-E：体罰・暴力を受けたことによって、あなたはその後どうなりましたか。（複数回答可）

　　　　　1　精神的に強くなった 　2　技術が向上した 　3　指導者の気持ちがわかった

　4　プレーが委縮した　　　　　5　体罰・暴力を受けることが不安になった

　6　試合に勝てるようになった　7　反抗心を持った

8　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　）

Q3．指導上体罰・暴力が必要な場合とはどんな場合だと思いますか。（複数回答可）

1　必要だとは思わない（これ以降の回答は不要です）

2　練習などで指導者の言うことを聞かなかった場合　　　10　練習や試合に欠席した場合

3　危険な行為をした場合 　　11　遅刻や欠席の理由が不可避でない場合

4　ミスをした場合　　　　　　　　　　　　　　　　　　12　プレーが上達しない場合

5　ミスを繰り返した場合　　　　　　　　　　　　　　　13　礼節が守れない場合

6　同じミスを繰り返した場合　　　　　　　　　　　　　14　チームの規律を乱した場合

7　無気力なプレーをした場合　　　　　　　　　　　　　15　日常生活で不適切行為があった場合

8　試合に負けた場合　　　　　　　　　　　　　　　　　16　その他（ 　　　　　）

9　練習や試合に遅刻した場合

《ご協力をありがとうございました》